

- 2 庄原さとやま博開催中!!
- 6 市・県民税の申告相談が始まります
- 7 お持ちですか?住基カード
- 8 お宅の地デジ化はお済みですか?
- 10 地域を元気にする起業を支援
- 11 みんなでまちづくりシリーズ
- 12 母子家庭の母の資格取得を応援します
- 13 平成23年度庄原市奨学金奨学生募集
- 14 健康広場「予防接種」
- 16 市政トピックス
- 18 カメラレポート
- 21 お知らせ

身を引き締める 消防出初式



1月9日、市総合体育館で庄原市消防出初式が行われました。昨年7月16日に発生した豪雨災害で、被災者の救援や行方不明者の捜索活動に懸命にあたった消防団。市民の生命財産を守る消防団への期待はますます高まっています。市内各地域から集まった団員たちは、キリリと表情を引き締め式に臨んでいました。



(平成23年1月22日撮影)

Vol.21
雪のかべ

百景

しょうばら
SHOBARA
HYAKKEI

応募方法

写真を通して庄原市の魅力を再発見するコーナーです。風景写真はもちろん人物写真でも結構です。あなたの好きな庄原市の風景を写真で紹介してください。また、この写真への思いや撮影エピソードなどを200字程度にまとめ、郵送またはメールでご応募ください。

応募先

〒727-8501

庄原市中本町一丁目10番1号

庄原市企画課広報統計係

☎0824-73-1159

メール kikaku-toukei@city.shobara.hiroshima.jp

この冬、日本列島を襲った寒波。全国各地で記録的な積雪を観測しています。庄原市内もすっぽりと雪に覆われ、子どもたちが雪を楽しんでいる姿があちこちで見られました。写真は、豪雪地帯高野町篠原地区の市道での1枚。降雪と除雪が繰り返されたことで出来上がった白い雪の壁が、何キロにもわたって続いていて、まるでボブスレーのコースが浮かび上がったような不思議な感覚でした。

小川 修(西本町)

広告

住まいの再生をお考えの方、今すぐクリック!

戸建てリフォーム革命 イベント広島

検索

携帯からはこちら



住友不動産

建設業登録 国土交通大臣許可(特-22)第4638号
新築そっくりさん 広島東営業所

〒739-0011 広島市西条本町7-29(林ビル1階) FAX(082)423-1751【受付時間】9:00~18:00【定休日】水曜日



0120-356-218

新築そっくりさん で 検索 http://www.sokkuri3.com/

表1を見ると参加者の傾向として、「食」と「参加交流」がからむメニューに人気が集まっていることがわかります。また、表3からは、体験メニューに食を含むものが含まないものに比べ、参加者が平均4割増しという結果がでています。体験メニューの中には、ものづくり、創作作業をメインにしたものもあり人気メニューもあります。が、全体的には、参加者が少ない現状です。このことから単に作るだけのメニューではなく、作ったものを使って料理をしたり、食を主に行っている体験メニューと組み合わせるメニューを企画することが参加者を呼び込むポイントになると思われます。



ポイントは「食」と「参加交流」にあり

数字から見ると、1メニューあたり6人程度の参加があり、約1万円の参加料が主催者に収入として入ってきています。これだけ見ると、メリットを感じられないかもしれませんが、これに主催者が作った作品を販売したり、すぐ近くの特産品販売所などを紹介したりすることでプラスアルファの効果がでています。

ちょっとした工夫で付加価値を

ポイントを踏まえ、体験メニューの組み合わせの提案・調整を積極的に行い、参加率の向上につなげていきたいと思っています。

メニューの組み合わせの一例

●里呼織り工房の卓布づくり+エトピリカのお正月用苔玉づくり。だんご汁や手づくりハーブティーでおもてなし。

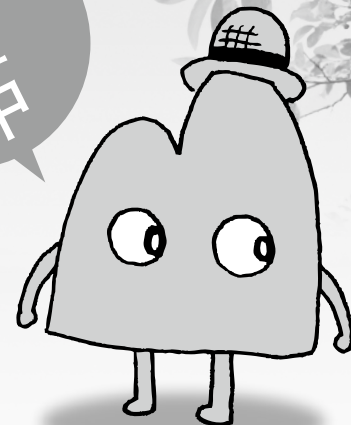
●三軒茶屋を利用し、2階スペースでは和裁体験や折り紙体験、1階では地元産の食材を使った食事を提供。



みつけ体験・「さい」発見! 庄原さとやま博

商工観光課 ☎0824-73-1177

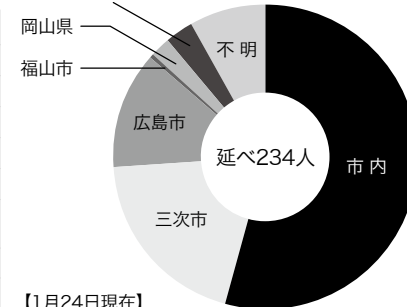
昨年10月3日の開幕から約4カ月が経過しました。今回は、これまで開催した体験メニューやイベント、その参加状況などをデータで振り返り、新しい体験メニューの作成やイベント展開のヒントを探っていきます。



●体験メニュー参加者の内訳

参加地域	人数	割合
市内	127	54.3%
三次市	46	19.7%
広島市	29	12.4%
福山市	1	0.4%
岡山県	5	2.1%
県内 (庄原・三次・広島・福山を除く)	7	3.0%
不明	19	8.1%
合計	234	100.0%

県内
(庄原・三次・広島・福山を除く)



【1月24日現在】

【表1】

種類	実施数	参加者数	平均参加者数
自然	1	4	4.0
クラフト	18	87	4.8
農林	3	9	3.0
食	17	116	6.8
参加交流	9	69	7.7
学び	0	0	-
合計	48	285	5.9

※実施数・参加者数は、種類が重複したものも含めています。

【表2】

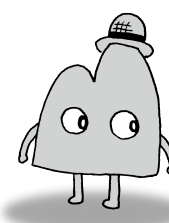
実施形態	メニュー数	参加者数	平均参加者数
単発(1種類のみ)	31	185	6.0
複合(数種類)	8	49	6.1

【表3】

メニューの中に	メニュー数	参加者数	男	女	平均参加者数
食を含む	16	114	33	81	7.1
食を含まない	23	120	35	85	5.2

体験メニュー参加者は234人

開幕からこれまで(1月24日現在)、体験メニューを主催した個人および団体の数は43。企画された秋と冬の体験メニューは96種類(秋42・冬54)。その内実施されたものは、現在実施中のメニューを合わせて



さとやま博の体験メニュー

Voice of the sponsor

主催者の声

これまで体験メニューを主催した皆さんの率直なご意見です。

●体験メニュー主催者が増えるためには、さとやま博をしっかりPRすることだと思っています。

●体験メニューを催せば自分も楽しいので、それを伝えたいですね。

●新しい出会いや縁を結ぶ機会になり、今後も継続していきたいです。

●素人が人を集めてお金をいただくなんて思っています。が、とてもありがたいです。

●自分流で行っている活動が、皆さんにどのようにつながっているのか、がわかり良かったです。

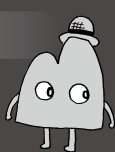
●体験メニューの成功例の発信が必要だと思います。お客様と楽しみを分かち合うことが喜びにつながります。

●さとやま博を多くの人に知ってもらう、参加してもらう、宣伝してもらったことが必要だと思います。

●自分たちのやっていることを理解して参加いただけるのでとてもうれしいです。

●やってみて足りない部分、がわかり勉強になったので、次に生かしていきたいです。





クリスマストレインで行く

ウィンターイルミネーションの旅

『光のまち』しょうばらへ出発進行！』

「庄原ウィンターイルミネーション・クリスマストレイン2010」実行委員会が主催したモニターツアー。JR需要の把握と利用促進を図る目的で広島市周辺の都市部住民を対象に企画された、冬のさとやま博関連イベント。

メニュー主催者のお互いのつながりを深める交流会の開催も3月に予定しています。皆さんのさまざまな意見や思いを反映させ、内容の充実した実のあるものにするためにも、市民の皆さんの参加・協力は必要不可欠です。

引き続き、関係団体と連携を密にし、PRに努めていきますので、一緒に庄原さとやま博を盛り上げていきましょう。

12月25日、特別列車「クリスマストレイン」が95人を乗せ、広島駅から庄原へ向け出発。列車は、一般車両に特別車両を連結した4両編成。



クリスマス模様にきれいに飾りつけられたクリスマスストレーンは、家族連れやカップルなどを乗せ、14時、駅長の合図とともに広島駅を出発。



約2時間の列車の旅は、カラフルな色の風船を使ったバルーンアートの実演やアコーディオン演奏、サンタクロースによるビンゴゲームなどのイベントや演出で参加者を楽しませ、同乗したキョロやまくんもクリ



参加者は駅に待機していたバス3台に分かれて乗り込み、すぐさま備北丘陵公園へ。



スマスパーティーと一緒に盛り上げました。また、列車内で試食販売された、市内産のバターケーキなども好評でした。



三次駅を過ぎ、いよいよ庄原駅に近づくと、雪が舞い始めると、子どもも大人もはしゃぎだし、辺り一面にうっすら積もった雪景色を、窓の外に身を乗り出すように眺めていました。

そして、16時過ぎにクリスマストレーンが庄原駅に到着。ホームでは、サンタクロースやトナカイに扮した地元バンドグループがクリスマスソングを演奏し、にぎやかに出迎えました。降り立った庄原市は雪が舞う、まさにホワイトクリスマス。昼に出发した広島市とは全く違う雪の世界に感激していました。



その後、公園北口にある展望レストラン「くにかね」でバイオリンとギターの演奏を聴きながら、地元食材を使ったクリスマスディナーバイキングを堪能し、クリスマスの楽しいひとときを過ごしました。

公園でのプランはここで終了。名残惜しそうにバスに乗り込んだ一行は、上野公園や市役所周辺のホワイトイルミネーションを車窓から見学し、三次駅から20時59分発の広島駅行き特別列車で、帰途に就きました。

今後、このモニターツアーの結果を踏まえ、庄原の四季にあわせたイベントを企画実施していく予定です。

グループなどを参加対象にした体験メニューの取り組み

観光公社設立準備室では、集客力のある旅行会社と連携し、参加する側が求める内容に応じて、企画・調整する体験メニュー（オーダーメニュー）を実施しています。

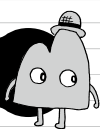
準備室が行うオーダーメニューは、グループや団体を対象とすることにより多くの人が参加でき、観光消費額の増大が期待できます。庄原市の良さ、体験メニューの面白さをたくさんの人に知ってもらう。また、参加した人が知り合いに話をする。聞いた人が興味を持って参加する。こういった広告塔（クチコミ）の効果もねらっています。

これまで3種類のメニューを実施し3団体59人が参加。いずれも好評だったことから、引き続き同様のオーダーメニューを実施し、体験メニューを観光資源とする仕組みづくりを推し進めます。

主役は市民の皆さんです

庄原さとやま博では、体験メニューのほかにも既存イベントや新たな企画イベントを連携させた一体的な取り組みに力を注いでいます。体験

体験メニューレポート



オススメの体験メニュー

紹介リレー

塩飽ガラス工房ポレポレでグラスづくり体験



口和町の古民家「わたりや」で12月19日、「そば打ち体験」が実施されました。この日は、三次市などから6人が参加しそば打ちに挑戦！口和そばの会の三吉龍次さんを講師に迎え、そば粉を練るところから、切つてめん仕上げるまでを指導してもらいました。



1人1玉を打つ本格的なそば打ちに、最初戸惑っていた参加者も、三吉さんの丁寧な指導で徐々にコツをつかんだ様子で、楽しみながらそばを打ち終えました。

早速、打ち上がったそばを全員で試食。思った以上においしくできた「家でも作れそう」などと、そばの出来を自己評価しながら味わっていました。

塩飽新一さんの個性豊かなガラス工房で、オリジナルのグラスを作ってみませんか。

自宅の中は、空き缶で作った時計や手づくり家具などユニモア溢れる作品が盛りだくさんです。

とき 2月13日(日)・17日(木)12時〜13時30分

ところ 塩飽ガラス工房ポレポレ(総領町)

参加者は「1人ずつしっかり指導してもらえたのが良かった」「交流が楽しかった」など満喫した様子。中には「そば粉はどこに売ってるの?」と尋ね、口和産そば粉を求めに走る参加者もいました。

主催した寺内哲子さんは「そば打ちを通して参加者の皆さんと交流でき、とても楽しかった」と話し、次回の開催にも期待を寄せていました。

次回開催日 2月20日(日)10時30分〜14時

ところ わたりや(口和町)

料金 3000円(昼食込)

定員 1人〜8人
料金 3000円
※料金は保険料を含みます

今回は、塩飽新一さんの紹介で「口和郷土資料館」音の里、口和で懐かしい音と映像の体験です。お楽しみに。

体験メニューの申し込みは、庄原市観光協会連合会観光公社設立準備室(0824-755-0173)まで。
ホームページ <http://shobara-satoyama.jp>

市・県民税の申告相談が 2月16日(水)から 始まります。



市・県民税の申告相談は、2月16日(水)から3月15日(火)までの1カ月間です。申告が必要となる人は、期間内に忘れずに申告してください。

申告相談の日程および会場は、広報1月号に掲載していますので、ご確認のうえ、必ず受付時間内にお越しください。

●お願い

①農業所得の申告をされる人は、必ず「収支内訳書」あるいは「月別集計表」を作成して当日持参してください。

②医療費控除のある人は、領収書などを、個人別、医療機関別、日付順に分けて集計し、当日持参してください。

※なお、農業所得の申告をされる人で、「収支内訳書」あるいは「月別集計表」を作成していない方、また、医療費控除を受けられる人で集計をしていない方は、申告相談の時間短縮のため、会場において、ご自分で集計していただきますので、時間がかかる場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

●その他

申告期間中、市役所3階の申告会場に、e-Tax(国税電子申告納税システム)に対応できるパソコン2台を設置します。ぜひご利用ください。

●業者の皆さんへ

米価特別対策補てん金・戸別所得補償交付金は、農業所得の雑収入です

庄原市米価下落特別対策支援制度による補てん金(JA庄原出荷分1袋当たり700円およびJA庄原以外への出荷分200円)と、国の戸別所得補償モデル対策の交付金は、交付決定通知書の通知日の属する年の農業所得の雑収入に該当します。

決定通知書の日付をご確認のうえ、お忘れのないよう申告をお願いします。

問い合わせ
税務課市民税係
☎0824-73-1146
または各支所民生活室

確定申告書の作成はインターネットで!!

庄原税務署からのお知らせ



確定申告

さらに便利で使いやすい!
ネットでも申告・納税。

e-Tax
国税電子申告・納税システム

所得税・贈与税の申告・納税は

3月15日(火)まで

個人事業者の消費税・
地方消費税の申告・納税は

3月31日(木)まで

e-Tax はメリットがたくさん

- ①国税庁ホームページから電子申告
- ②最高5,000円の税額控除
- ③添付書類の提出省略
- ④還付金がスピーディー
- ⑤24時間いつでも利用可能

●確定申告会場の開設日時 2月16日(水)～3月15日(火) 9時～16時

●ところ 庄原税務署2階会議室

※昨年税務署でe-Taxを利用して確定申告書を提出された方は、本年の確定申告の際には必要書類と「お知らせはがき」を持参してください。

納税には安心・便利な口座振替をご利用ください

【振替日】 所得税: 4月22日(金) 消費税: 4月27日(水)

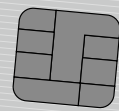
確定申告に関するお問い合わせ 庄原税務署 ☎0824-72-1001

住民基本台帳カード

お持ちですか?

住基カード

市民生活課戸籍住民係 ☎0824-73-1157



住基カードとは?

住基カードとは、住民票所在地の自治体が発行する「住民基本台帳カード」の略称です。金融機関のキャッシュカードと同じ大きさで、氏名、生年月日、性別、住所などの情報がICチップに内蔵されています。

2種類があります



B型(顔写真入り)

表面の記載事項は氏名・住所・生年月日・性別



A型(顔写真なし)

表面の記載事項は氏名のみ

出典/広報誌「総務省」11月号

住基カードを取得すると?

●本人確認書類として使えます

B型(顔写真入り)は、運転免許証と同様に、各種手続きの際に身分証明書として利用できます。高齢者の方など運転免許証を警察へ返却される前に持つておけば、返却後に「身分を証明できるものがなくて困る」といったことがなくなります。

●行政手続のインターネット申請が可能になります(電子証明書)

住基カード内に電子証明証をつけることで、行政機関などへの申請をパソコンから行うことができ、窓口に行く必要がなくなります。(6ページのe-Taxなど)。

また、第三者の「なりすまし」や「改ざん」などを防ぐことができます。

住基カードの交付手続き

申請者 本人または代理人(15歳未満の方についてはお問い合わせください)※代理人の場合、委任状が必要

申請に必要なもの

●印鑑

●本人の写真(B型のみ)

●申請者が本人と確認できる書類(運転免許証など)

交付 申請された窓口で、本人のみ受け取ることができます。
(手数料500円必要)

※電子証明証をつける場合は別途500円必要です。

※本人が官公署発行の顔写真付の身分証明(運転免許証など)を持参した場合、本庁であれば即日交付、支所であれば3日程度で交付します。

※右記以外の場合、数日後に交付。ただし、市から郵送する照会書に対する回答書の持参が必要です。

申請窓口・問い合わせ

市民生活課戸籍住民係
☎0824-73-1157
または各支所民生活室





2011年7月地デジ化 完了

Analog broadcast will fully switch over to Digital broadcast by July 2011.
©日本民間放送連盟 2009



©日本民間放送連盟 2009

お宅の地デジ化はお済みですか？

政策推進課地域情報係 ☎0824-73-1113

地上デジタル放送へ完全移行(地上アナログ放送終了)する7月24日まで、半年をきりました。次のようなメッセージが表示されているテレビは7月24日以降映らなくなりますので、早めの準備をお願いします。

7月24日になると…

全チャンネル映らなくなります。



地デジ視聴には何が必要？

①地上デジタル放送対応のテレビ、または地上デジタルチューナーや地上デジタルチューナー内蔵録画機器
②UHFアンテナ
アナログ放送終了間近になると、受信機器の品薄や、アンテナ工事の混雑が予想されます。早めの準備をお願いします。

●地デジ対応のテレビに買い換え
たけど映らない…

●電気店などから電波が弱いと言われた…

お住まいの地区が、『新たな難視地区』(アナログ放送は映るが、地形的な影響でデジタル放送が映らない地域)の可能性があります。この場合、地域の皆さんで共聴施設をつくるか、個別で高性能アンテナを取り付ける必要があります。

問い合わせ

●地デジ全般に関すること

総務省広島県テレビ受信者支援センター(デジサポ広島)

☎082・553・0101

(受付時間 平日9時～21時、土・日・祝日9時～18時)

●共聴施設の整備や新たな難視地区に関すること

政策推進課地域情報係

☎0824・73・1113

または各支所地域振興室

簡易チューナーの無償給付対象世帯が拡大

総務省は、これまでNHK放送受信料が全額免除となっていた世帯へ、簡易チューナーの無償給付などを行ってきましたが、新たに市町村民税非課税世帯へも簡易チューナーの無償給付を始めます。

① NHK放送受信料が全額免除となっている世帯への支援

●対象世帯

まだ地上デジタル放送に対応しておらず、NHK放送受信料が全額免除されている世帯のうち、次のいずれかに該当する世帯

- ①生活保護などの公的扶助を受けている世帯
- ②障害をお持ちの方がいる世帯で、世帯全員が市町村民税非課税の世帯
- ③社会福祉施設に入所している世帯

●支援内容

地上デジタル放送対応の簡易なチューナー(1台)を無償給付し、訪問してチューナーを設置します。アンテナの改修などが必要な場合は、無償で工事します。

② 市町村民税非課税世帯への支援

●対象世帯

まだ地上デジタル放送に対応していない世帯で、世帯全員が市町村民税非課税の世帯。(NHKとの放送受信契約が必要。)

●支援内容

地上デジタル放送対応の簡易チューナー(1台)を無償給付し、チューナーの設置方法や操作方法を電話でサポートします。(チューナーの訪問設置、アンテナ改修などとは行いません。)

申込方法など

申込書に必要事項を記入し、必要書類を添付して総務省地デジチューナー支援実施センターへ送付してください。申込書は、政策推進課・市民生活課・各支所市民生活室の窓口においてあります。また、総務省地デジチューナー支援実施センターからインターネットや電話などで取り寄せることができます。

問い合わせ

●地デジチューナー支援制度に関すること
総務省地デジチューナー支援実施センター

地デジ詐欺にご注意を

テレビ局の職員や工事業者などがかたつた地デジ詐欺などの悪質商法が発生しています。総務省、テレビ局、その他の関係機関がお金を請求することは一切ありません。頼んでもいない工事の代金や地デジ受信のための費用などの請求は、はっきり断りましょう。おかしいと思ったら、お近くの警察や消費生活センターにご相談ください。



問い合わせ

●地デジ詐欺などに関すること

総務省中国総合通信局デジタル放送受信者支援室

☎082・222・3429

庄原警察署

☎0824・72・0110

庄原市消費生活センター

☎0824・73・1228

地域を元気にする起業を支援

農家民泊など4事業を採択

庄原市起業支援補助事業（コミュニティビジネス支援事業）

商工観光課観光定住係 0824-73-1179

地域の課題解決や資源の活用など、地域を元気にする新しいビジネスを起業する方を支援する「庄原市起業支援補助事業」に本年度4件の申請があり、審査の結果4件すべてを採択しました。補助金の交付額は合計で1千126万8千円です。

平成23年度事業の受け付けは、4月から5月までです。活用を検討される方は、商工観光課（0824-73-1179）までご相談ください。

庄原地域 ロードサイドパーク R183開設

●ロードサイドパークR183プロジェクト（宮内町）

国道183号線を通行するドライバーなどが気軽に立ち寄れる、さまざまな機能と魅力を持った商業エリアを創出する事業です。既存の建物を貸し店舗に改修することが主な補助内容です。県北地域で他に例のない写真専門のギャラリーがテナントとして入り、既存の施設との連携で沿道の集客拠点になることを目指します。



高野地域 農家民泊「たなか」開設

●田中農園（高野町高暮）

限界集落化が進む高野町高暮で、地域の自然環境などの特性を生かしたさまざまな体験メニューを提供し、田舎をそのまま楽しめる、滞在型の宿泊施設を開設する事業です。宿泊施設の改修が主な補助内容です。集落全体で宿泊客の受け入れを行うことで、地域への経済効果や元気づくりにつながることが期待されます。



庄原地域 土産物開発・販売事業

●くじら工房（川手町）

庄原産の木材をレーザー加工することで、記念品や土産物を開発し「さとやま庄原」のイメージづくりを図る事業です。レーザー加工機の導入が主な補助内容です。気軽に購入できる比較的安価なマスコットや携帯ストラップなど、木のぬくもりのある魅力的な地域グッズが土産物として定着することが期待されます。



庄原地域 農家民泊「四季彩」開設

●四季彩（川北町）

故郷を持たない都会暮らしの方に、自分の故郷として親しめる宿を提供し、田舎の暮らしや自然を楽しむ学宿として開設する事業です。古民家の改修が主な補助内容です。都会の方との交流はもちろん、農作業や田舎料理づくりのノウハウなど、地域の方の知識や経験が生かせる場となることを期待されます。



Series みんなでまちづくりシリーズ

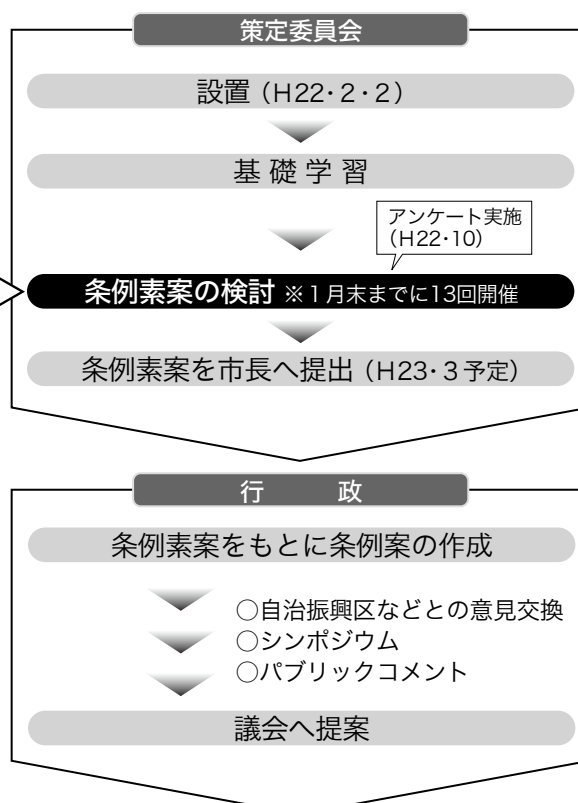
Let's make a town together

NO.05

みんなでつくろう！
まちづくりの
基本ルール自治振興課自治振興係
0824-73-1209

前回に引き続き、キヨロやまくと一緒に条例の策定に向けた取り組みについてご紹介します。

条例が制定されるまでの道のり



条例制定

検討内容

平成22年11月に、策定委員会から条例素案（前文以外）について中間報告がありました。現在は、次のことを要点に条文全体について協議されており、3月末までには最終素案が市長に提出される予定です。

- 前文は、条例制定の背景、まちづくりの方向性や決意など、分かりやすく表現すること
- まちづくりの最高規範として、皆に親しまれ理解されること
- 目指すべきまちの姿は、「すべての人が幸せに安心して暮らせるまち」であること
- 市民・議会・行政が役割分担を明確にし、協働して地域課題に取り組むこと
- 市民こそが、まちづくりの主役であること
- 住民自治組織は、自らの地域は自らの手で創るという精神のもと、支え合いと助け合いによって住みよい地域づくりに取り組むこと
- 事業者などは、地域社会の一員としての責任を果たし、まちづくりに貢献すること
- 議会は、議決機関として市民の負託に応え、市議会議員は、市民の代表者として責任を自覚すること
- 市長は、市政の代表者として市民の負託に応え、市職員は全体の奉仕者として公平かつ誠実に職務を遂行すること
- 市政運営は、透明性をもって行われるとともに、市民が参画しやすい環境整備に努めること
- 行政は、条例を実効あるものにするため、庁内推進体制を整備し、まちづくりの推進に関し、市民と意見交換をおこなうこと
- この条例は検証され、見直しが可能であること

看護師などの資格取得を応援します

母子家庭高等技能訓練 促進事業



母子家庭の母が、次の対象資格を取得するために看護学校などの養成機関（修業期間2年以上）で修業する場合に、高等技能訓練促進費および修了一時金を支給します。

対象資格

看護師（准看護師）、介護福祉士、保育士、理学療法士、作業療法士 など

対象者

- 20歳未満の子どもを養育する市内在住の母子家庭の母で、次の要件を満たす方。
- ①児童扶養手当受給者か、同様の所得水準の方
- ②過去に高等技能訓練促進費を受給していない方
- ③養成機関で2年以上の過程を修業し、対象資格の取得が見込まれること

平成23年度奨学生募集！

庄原市奨学金

教育総務課総務係
☎0824・73・1182

市教育委員会は、高校・大学・専門学校などに在学、進学する生徒や学生を対象に、奨学金（貸付・支給）制度を設けています。平成23年度の奨学生を次のとおり募集します。

■主な資格要件

- ①父母など（父母がいない場合は、父母に代わって家計を支えている方）が、1年以上市内に住所があること。
- ②高等学校などに在学していること。
- ③学習に意欲を持つと認められること。
- ④経済的理由で修学が困難であると認められること。
- ⑤国、地方公共団体その他これに類する団体が行っている

貸付月額（無利子）

区 分	高等学校専修学校（高等課程）		大 学		短期大学専修学校（専門課程）		高等専門学校 各種学校など	
	国公立	私 立	国公立	私 立	国公立	私 立	国公立	私 立
自宅通学	18,000円	20,000円	30,000円	41,000円	30,000円	40,000円	20,000円	30,000円
自宅外通学	23,000円	25,000円	35,000円	48,000円	35,000円	45,000円	25,000円	35,000円

る奨学金を受けていないこと。
⑥父母などが市税を完納していること。

■提出書類

- ①庄原市奨学金貸付申請書
- ②父母などの住民票の写し
- ③父母などの直近の市・県民税課税台帳記載事項証明書（所得証明書）
- ④4月1日以降に進学・在学する学校の学校長が発行する「入学を証明する書類または在学証明書」（原本）
- ⑤誓約書（連帯保証人2人の印鑑証明書と市税の納税証明書を添付）
- ⑥その他、教育委員会が必要と認める書類
- ※①②③は申請時に必要
- ※④⑤⑥は4月15日（金）までに提出
- ※申請書類は、教育総務課・市民生活課または各支所教育室・市民生活室に用意しています。

■提出先

教育総務課総務係または各支所教育室

■申請受付期間

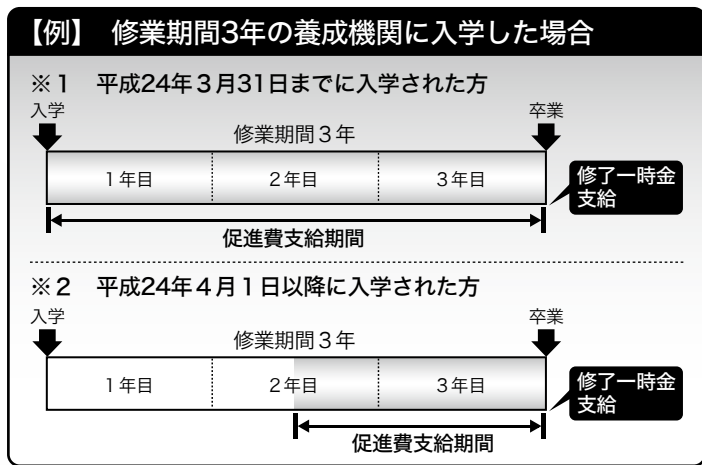
2月16日（水）～4月15日（金）17時30分まで（郵送の場合は、期間内必着）
【市内居住による返還免除制度】
学校を卒業後、一定期間以上市内に居住すると、奨学金返還の一部を免除される制度があります。
※詳しくは、教育総務課総務係（☎0824・73・1182）または各支所教育室へ問い合わせください。

●支給額および支給期間

支給額	高等技能訓練促進費		修了一時金
	市民税非課税世帯	月額141,000円	50,000円
支給期間	市民税課税世帯	月額70,500円	25,000円
	平成24年3月31日までに修業を開始する方	修業期間の全期間 ※1	修了後に支給
支給期間	平成24年4月1日以降に修業を開始する方	修業期間の1/2に相当する期間（上限18ヶ月） ※2	

手続き方法など

まずは、ご相談ください。個別に詳しい内容と手続き方法をご説明します。



問い合わせ

女性児童課児童福祉係
☎0824・73・1192



Relief security days

安心・安全な毎日のために



庄原消防署 ☎0824-72-9911
東城消防署 ☎08477-2-4005

●4つの対策

- ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。
- 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
- 寝具、衣類およびカーテンからの火災を防ぐために、防炎品を使用する。
- 火災を小さいうちに消すために、住宅用火災警報器を設置する。
- お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

煙突の破損による出火防止

屋根に積もった雪がずり落ち、雪の重さでお風呂などの煙突が破損し、火の粉が噴出して軒裏などに燃え移り、火災となった事例もあります。

皆さんのお宅の煙突は大丈夫ですか？

煙突を点検し、亀裂などの破損を発見したら使用を止め、修理など必要な処置をしましょう。



住宅防火 命を守る7つのポイント

●3つの習慣

●寝たばこは、絶対やめる。

市民の安心と健康を守る診療所

保健医療課 ☎0824-73-1155

わたしたち市民が、病気になった時やけがをした時など身近なところに診療・治療を受けられる診療所があることは、とても安心です。

また、緊急的の手術を必要とする場合や入院し長期間の治療が必要な場合には、病院にお世話になっています。

市内には、こうした診療所や病院が30カ所余りあります。今月号からシリーズで紹介していきます。

診療や治療を受けたときには、「ありがとうございます」の感謝の気持ちを伝えることで、医師と患者双方が気持ちの良い関係を築いていきましょう。

比和地域

医療法人社団こぶし会 田中診療所

☎0824-85-2333
☎0824-85-2127(介護事業部)

内科・胃腸科

理事長 田中 芳夫

先代の後を引き継ぎ、開業医として昭和51年から比和地区の医療を担い、介護保険制度施行から診療所、訪問看護、訪問介護、居宅介護支援事業所を併設しました。比和町は、市内で最も高齢化率が高く過疎化も進んでいます。今後も地域の方々のために、医療と介護を連携し、安全・安心な生活が確保できるように頑張ります。重症な患者さんは、病院との連携を密にして、かかりつけ医から病院へ、病院からかかりつけ医と橋渡し役を担います。

口和地域

医療法人社団 国原医院

☎0824-89-2310

内科

院長 国原 玄一郎

住み慣れたわが家で暮らしたいと思いながら、現実の暮らしの場は施設や都会へと向かっています。過疎化の中で若者の仕事が少ない、また一人暮らしやお年寄りだけの世帯が増えているという問題もあります。それでも、子どもからお年寄りまでが安心して暮らせるような地域になるように、福祉・保健に携わっている方たちや地域の方々と連携しながら、家庭医として、また学校医として関わっていききたいと思います。

比和地域

医療法人社団慈恩会 坂口内科医院

☎0824-85-2200

内科

院長 坂口 憲吉

軍医を6年間、南方戦線で終戦を迎え帰還し、昭和21年6月に先代から引継ぎ開業。以来60年余り地域の人々の健康保持公衆衛生の推進に努めてきました。病気で診療を休んだ日は一日もなく、懸命に活動しました。1日200人近い妊産婦検診を1人で行ったこともあります。子どもたちでいっぱいだった町も、今は小学校も1つに統合され高齢者が目立つ状況になりました。92歳になりましたが、元気を出して頑張りたいと思います。

西城地域

医療法人社団樹信会 赤木内科医院

☎0824-84-2423

内科

院長 赤木 茂樹

昭和28年の夏、無医地区だった旧八鉾村立診療所に赴任しました。鉄道と徒歩で一日がかりで往診をしたこともあります。道路が整備されてからは、冬季の積雪時でも車で往診に行けるようになりました。50年以上もよく続けてこられたと思います。診療は、軽い症状であれば対応していますし、救急医療の場合は、西城市民病院や庄原赤十字病院と連携しています。今後も連携をとりながら診療していききたいと思います。

健康広場 healthy column



保健医療課医療予防係長

え ぎ けい すけ
恵 木 啓 介

受けましょう！ 子どもの予防接種

子どもは元気にすくすくと育つてほしいというのが親の願いです。しかし、子どもは抵抗力が完全にできあがっていないため、よく病気にかかります。さらに、症状が重くなることもあるので、病気にかからないように守ってあげる必要があります。それには予防接種が効果的です。

「子宮頸がんワクチン」「ヒブワクチン」「小児用肺炎球菌ワクチン」の接種が始まりました！

1月11日から「子宮頸がんワクチン」「ヒブワクチン」「小児用肺炎球菌ワクチン」を公費で接種できるようになりました。これらのワクチンは、対象年齢になる方で希望すれば接種することができます。

12月号でもお知らせしましたが、子宮頸がんは「発がん性HPV」というウイルスの感染が原因で引き起こされます。このワクチンは、すべての発がん性HPVの感染を防ぐものではありませんが、子宮頸がんの70%程度を予防できるといわれています。

子宮頸がんワクチン

ヒブワクチン

脳や脊髄(せきずい)を覆う髄膜(ずいまく)に細菌やウイルスが感染して起こる炎症を「髄膜炎」といいます。この半数以上が「インフルエンザ菌b型」が原因といわれ、略して「Hib(ヒブ)」と呼ばれます。ワクチン接種で、細菌性髄膜炎や敗血症などを予防し、4回接種するとほぼ100%免疫ができます。

小児用肺炎球菌ワクチン

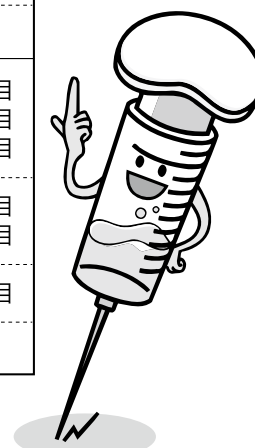
肺炎球菌は、菌血症、中耳炎、細菌性髄膜炎の原因となる細菌で乳幼児の鼻咽頭に存在します。

対象となるワクチンと接種スケジュール

ワクチンの種類	対象年齢	接種開始年齢	接種スケジュール
子宮頸がん	中学1年～高校1年	—	初回接種から1カ月後、6カ月後の計3回接種
ヒブ	生後2カ月～5歳未満	2～7カ月未満	1回目接種から4週～8週の間で2回目 2回目接種から4週～8週の間で3回目 3回目接種から概ね1年後に4回目
		7～12カ月未満	1回目接種から4週～8週の間で2回目 2回目接種から概ね1年後に3回目
		1歳～5歳未満	1回のみ
小児用肺炎球菌	生後2カ月～5歳未満	2～7カ月未満	1回目接種から27日以上の間隔で2回目 2回目接種から27日以上の間隔で3回目 3回目接種から60日以上の間隔で4回目
		7～12カ月未満	1回目接種から27日以上の間隔で2回目 2回目接種から60日以上の間隔で3回目
		1歳～2歳未満	1回目接種から60日以上の間隔で2回目
		2歳～5歳未満	1回のみ

接種期限は、平成24年3月31日までです。
接種に関する問い合わせは保健医療課☎0824-73-1155または各支所担当室まで。

このワクチンは、肺炎球菌による重い感染症を予防することができます。





工
商
観光課

韓国全土に庄原を発信！

韓国ドラマ「Sign」が庄原でロケ

韓国ドラマ「Sign」の撮影が1月12日～18日にかけて、庄原市や尾道市などを舞台に行われました。これは、備北地域としまなみ海道の観光の魅力を韓国のテレビドラマで発信し、ロケ地巡りなどの外国人旅行者の誘客を図るため、中国運輸局と庄原市、尾道観光協会がビジストジャパン地方連携事業の一環として招致したものです。

庄原での撮影は、16日～18日にかけて国営備北丘陵公園、まほろばの里、宝蔵寺（東本町）、県立広島大学庄原キャンパスの市内4カ所をメインに行われました。現地スタッフ、エキストラとして市内外から約170人の協力を得て撮影は進められました。

撮影地の一つ備北丘陵公園では、イルミネーションが点灯された中で一場面が撮影されました。撮影の裏では、雪の寒さの中じつと出番を待つエキストラ、スタッフに温かい食事を提供してくれる炊き出しスタッフなど多くの



主演のパク・シニョンさん(左)とキム・アジュンさん(右)

方が庄原ロケを支えました。大雪などの影響でスケジュールがずれ込んで、撮影が深夜から早朝に及ぶこともありましたが、18日早朝にロケは無事終了しました。

今回のロケは、韓国で口蹄疫がまん延している中で行われたため、関係者の靴裏などの消毒を徹底・実施するとともに、畜産農家の方には、取り組みまれている防疫対策を引き続き徹底いただくよう呼びかけました。

撮影された場面は、1月27日・2月2日の2日間に分けて約45分間、韓国全土で放映。このドラマを見た国内外の方がロケ地観光で大勢訪れることが期待されます。



宝蔵寺での撮影風景



抱負を語るキム・アジュンさん

和
所
比支

比和地域づくり講演会を開催

実践事例から地域づくりを学ぶ

比和支所と比和まちなか活性化会議は12月7日、比和文化会館で比和地域づくり講演会を開催しました。これは、クラスターのまち実現プロジェクト事業の一環として開催したもので、今回は口和モーター物産館代表の杉谷哲次さんが『人のつながりと地域づくり』と題して講演。参加した住民約60人は、地域づくりのヒントや手法など、杉谷さんが地域で実践した取り組みや経験談に耳を傾けました。

参加者は「グループで地域の特性をつかみ行政のアドバイスを得て実行に移すことが大切だとわかった」「身近で人生経験が豊かな話でとても参考になった」などと話していました。今後同様の講演会を開催していく予定です。

総務課

災厄なき年を祈念して シルバー人材センターが市役所玄関に門松設置

一昨年に引き続き、庄原市シルバー人材センターから市へ門松としめ縄が寄贈されました。12月17日、庄原市シルバー人材センター門松作成同好会のメンバー6人が、市役所本庁舎西側玄関へ高さ約2.5mの門松を約1時間かけて設置しました。門松が飾られ、身の引き締まる思いで新年を迎えることができました。



玄関に設置された門松とシルバー人材センターの皆さん

総務課

市民ホールに楽しい調べ 国際ソロプチミスト庄原がメロディー時計を寄贈

市役所市民ホールに12月16日、メロディー時計が設置されました。この時計は、国際ソロプチミスト庄原から市へ寄贈されたアナログ式の掛け時計で、一時間ごとに6種類の楽しいメロディーが流れ、それに合わせて文字板が動く仕掛けになっています。

市民の憩いの広場として利用されている市民ホールに楽しい時間が刻まれ、さらに親しみやすく、やすらげる空間となりました。国際ソロプチミスト庄原の栢川良枝会長は「少しでも市役所が明るくなれば」と話していました。



滝口市長から感謝状を受け取る栢川会長



寄贈されたメロディー時計



住民主体のまちづくりは民主的な会議から 「会議の進め方講座」が開催

REPORT ③



▲会議をうまく進める手法を学ぶ参加者

ある自治振興区のうち11の自治振興区から、延べ約80人が受講しました。

西城地域の各自治振興区の構成員を対象にした「会議の進め方講座」を10月から12月にかけて開催し、18

この講座は、自治振興区の役割が重要さを増す中、参加者一人一人が自分の意見を述べ、議論を積み上げて地域の将来を決定する「参画型会議」の手法を身につけることを目的に開催されたものです。

4回の講座を通して、参加者誰もが気持ち良く意見を出し合える会場づくりや雰囲気づくり、スムーズな会議進行の手法などの理論を学び、会議の進行役や記録者を務める会議実習などを体験しました。

受講者は「これまでに経験した中で一番有意義な研修だった」「時間はかかっても、民主的な会議を地域の文化として根付かせ地域づくりに生かしたい」などと話していました。

REPORT ④

後世に伝えたい伝承の舞 戸山会新春神楽公演会

口和の伝統芸能「常定神楽」継承団体「戸山会」の新春神楽公演会が1月2日、口和老人福祉センターで開催されました。

戸山会は、郷土に対する理解を深め「常定神楽」を後世に伝えていくことを目的に、平成6年1月1日に発足。会のメンバー30人は、毎週1回の練習を重ねながら、年4回程度の公演や口和中学校神楽同好会の育成・指導を行っています。

今回で11回目となる公演には約70人が来場。清めの舞・猿多彦の能・素佐の男の尊・恵比寿舞が演じられ、

大蛇の登場で泣く子もいましたが、恵比寿舞の餅まきでは、もらった福餅を手に大喜び。新春神楽を大いに楽しんでいました。

同会の前田薫会長は「少ない会員だが、今後も続けていきたい」と話していました。



▲素佐の男の尊の一場面

ふるさとを愛する気持ちを図書に込めて 高野小学校に「曾田文庫」

REPORT ⑤

高野町新市出身の曾田隆夫さん(故人:廿日市市)から高野小学校に図書292冊と書架1台が寄贈されました。これは「生涯にわたり生まれ育った高野を故郷として愛し慕っていた」という隆夫さんの思いを息子の正浩さんが受け継ぎ、今回の寄贈となりました。



▲贈呈式に出席した曾田さん夫妻 右上の写真が隆夫さん

12月7日、高野小学校で行われた贈呈式には、曾田正浩さんと妻のまき江さんが出席。曾田さん夫妻は重光登校長に寄贈目録を手渡し、「子どもたちがこの図書を役立て、高野の地をふるさととして愛し誇れるよう頑張っ

てほしい」とあいさつ。児童を代表して図書委員の中林寧々さんと曾田彩水さん(ともに6年)が「いただいた図書はみんなで大切にします」とお礼を述べました。

贈られた図書は「曾田文庫」と名付けられ、児童が大切に利用しています。



▲寄贈された図書と書架



ぐるり庄原 Look Around Shobara カメラレポート Camera Report

REPORT ①

大災害を教訓に一層の防災を誓う 庄原市消防出初式

平成23年庄原市消防出初式が1月9日、市総合体育館で行われ、消防団員761人と備北地区消防組合の消防署員64人が参加しました。

式では、厳かな雰囲気の中、新入団員への辞令交付や永年勤続者への感謝状の贈呈、滝口季彦市長による観閲などが行われました。また、初期消火などに努められた一般市民の方へ上原清司消防団長から感謝状が贈られました。



▲新入団員を代表し、口和方面隊の吉岡雅敏さんが宣誓



▲訓示を行う上原団長



1月1日から新しく団長に就任した上原団長は「昨年7月16日に発生した庄原市ゲリラ豪雨は、未曾有の被害を発生させ、住民の安全は著しく脅かされた。この災害を教訓に消防団の組織力・動員力・地域密着性を発揮し、訓練、教養に励み、恐るべき災害の防止、被害の軽減に取り組もう」と訓示しました。

昨年、市内では30件の火災が発生し、一昨年より9件減っています。

東城の歴史や伝統が一枚に 第2回「東城の四季・出会い」フォトコンテスト

REPORT ②

次世代に継承していきたい東城町の四季折々の自然や人々との出会いをテーマにした作品を競う、第2回「東城の四季・出会い」フォトコンテストが開催されました。

東城町観光振興キャンペーン実行委員会と庄原市文化協会東城支部が主催するこのコンテストに、県内外から自然部門18点、生活文化部門30点、計48点もの作品が寄せられ、その中から最優秀賞1点、2部門からそれぞれ優秀賞1点、入選10点が選ばれました。



▲優秀賞 生活文化部門「供養田植」 安部萬侑さん(福山市)



▲優秀賞 自然部門「清流」 小田 弘さん(新見市)

最優秀賞に選ばれた、谷岡隆さん(呉市)の作品「お披露目」は、「塩原大山供養田植」という数ある東城の行事の中でも歴史と伝統ある行事を題材にし、多くの人々が携わるところなど、東城の良さがよく現れている」と高く評価されました。

審査員は「多くの方々に東城を訪れていただき、またこれらの作品を通して東城のよさを感じてもらいたい」と話していました。

入賞作品は、昨秋に開催された「東城まちなみぶらり散歩ギャラリー」で展示され、訪れた多くの人々の目を楽しませていました。

●市内の入賞者

入選:奥村恵二さん(三日市町)、冲山由美子さん(西本町) 立花敏之さん(三日市町)



▲最優秀賞「お披露目」 谷岡 隆さん(呉市)

生活相談
身体障害者補装具判定会
〔聴覚〕 2月17日(木)
受付 13時～14時
ところ
広島県三次庁舎第3庁舎2階
三次市十日市東4-6-1
※1週間前までに社会福祉
課障害者福祉係へ予約を。
☎0824-731210

人権相談(特設)
各地域で人権擁護委員が
相談に応じます。
●庄原地域
とき 2月15日(火)・3月1日(火)
13時30分～16時30分
ところ
庄原市ふれあいセンター
●高野地域
とき 2月16日(水)
13時～16時
ところ 高野支所
●比和地域
とき 2月17日(木)
13時30分～15時30分
ところ
比和文化会館
●総領地域
とき 3月10日(木)
9時～11時

ところ
総領健康福祉センター
問い合わせ
三次人権擁護委員協議会
☎0824-622572

定期巡回児童相談
北部こども家庭センター
が子育てに関する相談に応
じます。
●庄原地域
とき 2月17日(木)
10時～15時
ところ
庄原市ふれあいセンター
※1週間前までに女性児童
課子育て支援係へ予約を。
☎0824-730051

●東城地域
とき 2月25日(金)
10時～15時
ところ 東城支所
※1週間前までに東城支所
保健福祉室へ予約を。
☎08477-25131

障害者相談員定期相談会
〔庄原地域〕
●知的 3月14日(月)
13時30分～16時30分
ところ
庄原市ふれあいセンター
※事前予約もできます。

問い合わせ
社会福祉課障害者福祉係
☎0824-731210

健康相談
広島県北部保健所(三次
市十日市東)で実施する健
康相談です。事前に電話で
ご予約ください。秘密は厳
守します。
●心の健康相談
ストレス、うつ病などの
心の健康に不安のある方や
その家族からの相談に応じ
ます。
とき 2月15日(火)
13時～14時30分
●エイズ検査・相談
検査は無料・匿名で受け
られます。結果はその日に
お知らせできます。相談は
随時受け付けています。
とき 2月9日(水)・3月9日(水)
13時～15時
申し込み・問い合わせ
広島県北部保健所保健課
☎0824-635181

無料法律相談
広島弁護士会が法律相談
に応じます。
とき 3月12日(土)

13時～17時
ところ
東城文化会館
問い合わせ
東城支所市民生活室
☎08477-25126

催し
母子家庭の母・寡婦のための
就職準備・転職セミナー
とき 3月6日(日)
13時～15時
ところ
庄原市ふれあいセンター
対象
母子家庭の母および寡婦
内容
講演「人と上手にかかわる
ための感情コミュニケーション」ほか
定員 30人
申込期限 3月3日(木)
※受け付けは、平日の9時
から17時まで
申し込み・問い合わせ
広島県母子寡婦福祉連合会
☎0824-5436889

越原の冬を味わいませんか?
冬ならではの田舎の味を
味わうイベントです。そば
打ちとコンニャクづくりで

広告

**一人で悩まないで
まず相談してください。**
業務のご案内

- 不動産の名義変更
- 成年後見
- 相続登記・遺言
- 会社の登記
- 借金の整理
- 簡易裁判所訴訟代理等

●詳しくはホームページに書いています。
庄原 司法書士 検索

広島北部司法事務所 (訴訟代理権認定第524014号)(司法書士登録番号828号)
〒727-0013 広島県庄原市西本町四丁目20番17号 パリナシュB2階 TEL0824-72-2315

REPORT ⑥

体験交流から新たな産品づくりを目指す
比和の特産市場が「こんにやく作り体験交流会」を開催

グリーンポート吾妻路で11月28日、「こんにやく作り体験交流会」が開催されました。この交流会は、グリーンポート吾妻路の有効活用と新たな比和の産品をつくることを目的に比和の特産市場が企画したもので、このたび初めての開催となりました。



▲こんにやく作りを体験する参加者

当日は、関西方面からの参加者を含め7人が参加し、同市場のメンバーに教わりながらこんにやく作りに挑戦。出来上がった

こんにやくはさしみにして味わい、広島牛たきこみ弁当や漬物をほお張りながら、今後の比和の産品づくりのアイデアを出し合いました。



▲丸いこんにやくが完成

同市場のメンバーは「出されたアイデアを今後の商品開発に生かしていきたい」と話していました。

市役所市民ホールが芸術的空間に
庄原ナイトアッププロジェクト

「まちなかホワイトイルミネーション」の一環として市役所市民ホールをライトアップする「庄原ナイトアッププロジェクト」が、12月24日から1月15日にかけて実施されました。

広島市立大学芸術学部が取り組んだこのプロジェクトは、『いま市役所から動き出す』をテーマに、ガラス張りで開放的という市民ホールの特性を最大限に利用し、発光ダイオードによる電飾や使用済みの紙などをつくる環境にも配慮した演出で、市役所とは思えない芸術的な空間を作り出しました。

また、1月14日のクロージングイベントでは、光と影を巧みに利用した映像と軽快な音楽で、まるでダンスホールのような空間が演出されました。同学部に演出を依頼した、光のまち庄原実行委員会の

塩本誠二委員長は「今後も同大学と連携し、庄原の魅力アップにつながる事業に取り組みたい」と話しています。



▲ライトアップされた市民ホール

REPORT ⑧

発表会で神楽を披露するぞ!
総領保育所園児が備後神楽を練習

総領保育所の園児たちが、生活発表会で発表するため、地域に伝わる「備後神楽」を練習しています。

きっかけとなったのは、昨年総領地域で行われた芸能祭で、総領神楽同好会の演じた備後神楽「八重垣(おろちたいじ)」を見て感動した年長組の子どもたちが、大蛇や太鼓、笛をダンボール箱から作って神楽ごっこを始めたことからでした。

12月10日、同好会による訪問公演が総領保育所で行われ、この日から同好会のメンバーに神楽の舞い方や台詞などを教わり始めました。園児たちは「おじいちゃんに教えてもらってうれしい」「神楽をいっぱいや

りたい気持ちになった」と一層神楽の楽しさを覚え、週1回の練習を楽しんでいます。

園児たちが演じる神楽は、2月中に開催予定の生活発表会で発表される予定です。



▲役になりきり練習する園児たち

第3回庄原ダム検討委員会

庄原ダムの治水・利水計画などを検討する委員会を開催します。

とき 2月14日(月)
13時～15時30分
ところ
県北部建設事務所庄原支所第3庁舎
傍聴定員 30人程度
傍聴手続き
当日、会場で行います。
問い合わせ
県北部建設事務所庄原支所
庄原ダム建設事業課
☎0824・72・2015

節分草自生地公開・節分草祭

日本有数の規模を誇る総領町の「節分草自生地」では、2月中旬から約1カ月間、市の天然記念物に指定されている7カ所を一般公開します。

期間中には、総領町の山野草を題材とした写真・絵手紙コンテストの作品募集や、土・日曜日を中心に地元が楽しめる各種バザー、山野草にまつわる講座・教室を開催します。また、「節分草祭」を開催し、俳句会などのイベントも行います。

募 集

高原の家七塚
イベント参加者募集

きのこ園づくり
伐採した原木に、しいたけ菌、ひらたけ菌、なめたけ菌を植え付ける方法やほだ木の保管の仕方を学びます。

3月5日(土)～6日(日)
1泊2日
対象者
やってみようと思われる方
ならどなたでも可

募集人数 30人

参加費 7千円
(小学生4千円)
※宿泊・食事・教材・傷害保険の料金を含みます。
申込締切 2月28日(月)
申し込み・問い合わせ
高原の家七塚
☎0824・75・2033
FAX 0824・74・0827

温水プール水夢
親子体操教室

音楽に合わせてマット体操やバランス運動を行います。お子さんの可能性を広げ、保護者の方の健康維持や体力アップ、ダイエットにもなるメニューをインストラクターが指導します。

ところ
西城温水プール水夢
とき
2月2日(水)・16日(水)
3月2日(水)・16日(水)
10時～11時30分
対象
市内在住の2歳以上就学前幼児と保護者(祖父母など可)
※子ども1人と保護者1人のペアでの参加が原則ですが、子ども2人以上の参加

を希望される場合はご相談ください。

申し込み・問い合わせ
西城教育局
☎0824・82・2445
※各開催日の2日前までに申し込んでください。

広島空港大橋の愛称募集

庄原市を含む5市1町で組織する広島空港北アクセス道路(広島中央フライトロード)推進協議会は、広島空港大橋の愛称を募集します。

4月中旬開通予定の広島中央フライトロードの一部を形成するこの橋は、三原市本郷町の沼田川溪谷をまたぐ橋長800m、アーチ支間380mで、完成すれば国内最長のアーチ橋となります。わかりやすく、多くの人に親しんでもらえる愛称をお待ちしています。

応募方法
応募用紙に、愛称(ふりがな)、愛称の説明、住所、氏名(ふりがな)、性別、年齢、電話番号を記入の上、郵送・FAXまたは電子メールでご応募ください。(必要事項を記入した郵便はがきも可)
応募締切

希望される場合はご相談ください。

で表記したもの。(アルファベットや記号は使用不可)

その他

・応募用紙は、建設課または各支所環境建設室にあります。

・採用された作品の一切の権利は、広島空港北アクセス道路(広島中央フライトロード)推進協議会に帰属します。

・応募作品は返却しませんので、あらかじめご了承ください。

表彰
最優秀賞1点、
優秀賞3点以内
応募先
〒723・0015
三原市門一町二丁目3番4号
三原市役所土木管理課内
広島空港大橋愛称募集係
☎0848・67・6100
FAX 0848・64・6057
電子メール
dobokukani@city.mihara.hiroshima.jp
問い合わせ
建設課管理係
☎0824・73・1150

第19回比婆山国際スカイラン参加者募集
昨年、4年ぶりに復活した中国地方で唯一の山岳マ

ラソン『比婆山国際スカイラン』の参加者を募集します。新緑が香る比婆山連峰と一緒に駆け抜けませんか。

とき
5月22日(日)
10時スタート
ところ
ひろしま県民の森
種目・参加資格
Aコース 18・5キロ以上
男女15歳以上
Bコース 9・0キロ以上
男女12歳以上
募集期間
2月1日(火)～4月15日(金)
定員
A・Bコース合わせて500人
※定員になり次第締め切ります。

参加料
一般 5千円
中高生 3千円
申込方法
所定の申し込み用紙(振替払込取扱票および誓約書と兼用)に、必要事項を記入し、参加料を添えて事務局へ持参または郵便振替でお申込みください。RUNNET(<http://runnet.jp/>)からも申し込みます。

その他

そ の 他

県河川道路美化活動保険制度

広島県は、県内の河川や道路の美化活動に参加する人が、その活動中に起きた事故によって傷害を受けた場合、また活動中に第三者への人的・物的被害を与えた場合の救済措置として、「広島県河川道路美化活動保険制度」を設けています。

市は、万一の事故に備えるとともに、安心して美化活動に取り組んでいただくよう、美化活動を実施している団体などに、この保険への加入を勧めています。

自治振興区や自治会、ボランティア団体で、この制度を利用しようと思われる場合はご相談ください。

対象箇所
一・二級河川および準用

河川ならびに国・県道

対象美化活動

道路・河川の堆積土、汚泥などの除去または除草、清掃など。

加入手続き
美化団体の届け出をして認定を受けることで、保険に加入できます。

必要な書類は、団体届出書です。また、加入している団体内内容に変更がある場合は、変更の届け出が必要です。

※平成23年度の申込締め切りは2月18日(金)です。

申し込み・問い合わせ
建設課管理係
☎0824・73・1150
または各支所環境建設室

河川清掃ボランティア支援制度

広島県は、河川環境の向上と河川愛護精神の普及のため、「河川清掃等業務委託」という制度を設けています。

この制度は、県が管理する一級・二級河川の清掃活動(ゴミ・空き缶拾い、草刈り)を行うボランティア団体に、対して、報償金(食料費・燃料費などの必要経費により算定された額の範囲内)を

「この社会あなたの税がいきている」
— インターネットで申告・納税できる —
e-Tax (国税電子申告・納税システム) **利用推進運動中**
<http://www.e-tax.nta.go.jp>

めざします
よき経営者による 正しい納税で
企業の繁栄と社会への貢献

社団法人 **庄原法人会**
〒727-0011 広島県庄原市東本町1-2-22 (庄原商工会議所会館内)
TEL 0824-72-1889 (FAX兼用)
HP : <http://www10.ocn.ne.jp/~shk/>

司法書士法人SOLY(ソリー) <http://soly.jp>
～平成22年4月1日、ピオーネ支店を開致しました～

「遺言・相続」「借金問題」「成年後見」「登記手続」
どうしたらいいの?

今月のセミナー
「知ってみよう! 遺言の書き方」
～自筆証書遺言の書き方のポイント～
2月20日(日) サングリーンコミュニティホール
13時30分～講演14時30分～質疑応答

電話相談【無料】フリーダイヤル
0120-08-4864
相談メール
info@soly.jp

在籍司法書士
藤原快行 沖本真由美 中村麗子 照本夏子
長野十郎 桑原地朗 浜田真規子

ピオーネ支店
本店 三次市十日市中2丁目4番6号
広島市中区八丁堀3番8号

2月28日(月)
(当日消印有効。郵送以外の場合は、当日17時15分までに到着分のみ有効)
応募条件
① 自作で未発表のものに限ります。
② 応募用紙(郵便はがき・FAX)1枚につき、1点だけ愛称を記載してください。(複数記載のものは無効)
※電子メールの場合は、貼付ファイル1つにつき1点。
③ 1人で何点応募しても構いません。
④ ひらがな、カタカナ、漢字

野鳥のえさ台を設置

帝釈峡まほろばの里は、帝釈自治振興区と共同して駐車場入口付近の林の中に野鳥のえさ台を2基設置しています。これは、冬のえさ不足を補って、野鳥を保護するためのものです。

冬の間、交流促進センターのデッキから、えさ台に集うヒヨドリ、シジュウカラ、ヤマガラなどを観察することが出来ます。ぜひ、お越しください。

問い合わせ 時悠館 0847760161

あつぱれ庄原

全国レベルの大会出場者、全国・県レベルの大会、市が共催する各種大会などの上位入賞者を掲載します。(敬称略)

全国大会

全国高等学校駅伝競走大会

(12月26日・西京極陸上競技場) 準優勝 藤川 拓也(世羅高3年・永越町) 松井 智靖(世羅高3年・高町)

県大会など

全国中学校選抜卓球大会広島県予選

(12月23日・広島市東区スポーツセンター) 1ツセンター

女子団体戦 優勝

山本亜由美(庄原中2年・川北町) 平田 美咲(庄原中2年・川北町) 岡本 りお(庄原中2年・実留町) 稲垣 友華(庄原中2年・口和町) 海渡 遥菜(庄原中1年・上谷町) 作田 遥(庄原中1年・高町) 五嶋 美純(庄原中1年・中本町) 森田 佳代(庄原中1年・本村町)

鈴木三重吉賞

応募総数は作文2256点、詩3303点。特選は作文・詩とも7点ずつ、優秀賞は各21点、佳作は作文176点、詩211点、学校賞は作文で4校、詩で5校が選ばれました。

特選 作文の部

佐藤 輝義(小奴可小2年) 山田 恵(東城中3年)

特選 詩の部

富田 大貴(小奴可小2年) 藤野 七海(東城中3年)

優秀賞 作文の部

健康づくりポスター

応募総数は1778点で入賞作品90点が選ばれました。

最優秀賞 中学生の部

平田 牙(比和中1年)

選考委員特別賞

小学生の部

近保 音羽(山内小5年)

優秀賞 中学生の部

石田 晴香(高野中1年)

広島県科学賞

川口 怜(小奴可小1年) 長谷 彩花(小奴可小1年) 宮田 萌木(小奴可小1年) 佐々木郁歩(永末小2年) 久保 春喜(西城小3年) 久保 寛明(西城小6年)

けんみん文化祭ひろしま'10

文芸祭(一般の部)

短歌の部

広島県教育委員会賞

田中 静子(山内町)

広島市議会賞

葛 トキエ(口和町)

●俳句の部 入選

矢崎 稔子(宮内町)

竹地 恵美(川北町)

現代詩の部

庄原市議会賞

赤堀 幸子(高町)

入選 坂村 初子(三日市町)

●川柳の部

入選 山本 和佑(西城町)

中原 幹枝(新庄町)

林 武志(川手町)

文芸祭(小・中・高校生の部)

●短歌の部

広島県教育委員会賞

若林 春奈(栗田小1年)

広島市長賞

井上 七海(庄原中2年)

入選

坂口 遥香(庄原中2年)

篠原明日香(庄原中1年)

森続 悠成(栗田小2年)

倉本 朋子(庄原中1年)

藤原 綾花(庄原中2年)

安部 瑞稀(庄原中1年)

水上 健太(庄原中2年)

山岡 楓(庄原中2年)

田森澁 一朗(栗田小1年)

荒木 大祐(庄原中2年)

本岡 凌志(庄原中2年)

倉谷 佳邦(庄原中3年)

●俳句の部

広島県知事賞

山口 実月(西城小4年)

広島市長賞

石田 優生(高野中3年)

入選

奥原 彩夏(西城小6年)

松島 優希(高野中3年)

塩音 諒輔(口北小2年)

大田 真冬(西城小5年)

※該当する方の情報は

企画課広報統計係

0824731159

までお寄せください。

ひばの里 体験イベント

備北丘陵公園 だより



備北公園管理センター 0824-72-7000 (http://www.bihoku-park.go.jp/)

●節分料理のおもてなし

こんにやく料理と煎り豆を振る舞います。

とき 2月5日(土)、6日(日)、11日(祝)

●味噌づくり体験

地元庄原産の大豆を使った味噌作り。

とき 2月11日(祝)、12日(土)、13日(日)

参加費 1千円/組

●和紙折紙教室

きれいな模様の和紙で折り紙を楽しめます。ひな飾りも作れます。

とき 2月11日(祝)、12日(土)、13日(日)

参加費 500円/各種

ひな祭りにちなんだ体験

●ひな菓子のおもてなし

2月26日(土)、27日(日)とき

●ほとぎ作り体験

2月26日(土)、27日(日)とき

参加費 500円/組

●とうろく菓子作り体験

とき 2月27日(日)

参加費 500円/組

その他イベント

●おもてなし

一年ごとに漬け替えている粕漬け。素朴な味わいを楽しめる一品です。さとやま屋敷と上の農家でお召し上がりください。はぶそう茶といっしょにどうぞ。

●冬咲きぼたん展

2月27日(日)まで

さとやま屋敷では「冬咲きぼたん」をご覧いただけます。わらを編んだ「こも」をまとったぼたんの花は風情があります。

●スイセンファンタジー

3月19日(土)から

ことしは230品種36万本のスイセンをそろえました。西日本最大規模のスイセンのコレクションです。スイセン色のじゅうたんを敷き詰めたような景色は公園ならではです。どうぞお楽しみに！

期間中のイベントの詳細な日程は、電話または公園ホームページでご確認ください。

広告 トーエイ ネットスーパー スーパーの食材がネットで買える

おつかい便

重いもの、まとめ買いが便利!

カタログ注文もご利用頂けます。詳しくはお電話で

0120-108-800

http://www.tohei.jp/

株式会社トーエイ 〒729-5121 庄原市東城町川東 1172 番地 TEL (08477) 2-4111



人の動き

平成22年12月末日現在

●住民基本台帳登載人口

人口 40,587人(前年比－568人)

男 19,289人(前年比－242人)

女 21,298人(前年比－326人)

世帯数 16,071世帯(前年比＋8世帯)

【各地域の内訳】

庄原地域 19,374人(7,794世帯)

西城地域 4,234人(1,568世帯)

東城地域 9,178人(3,808世帯)

口和地域 2,339人(852世帯)

高野地域 2,134人(706世帯)

比和地域 1,706人(665世帯)

総領地域 1,622人(678世帯)

●外国人登録人口

人口 324人(前年比＋5人)



ふれあい市長室の日程

☎企画課広報統計係 ☎0824-73-1159

◎と き 3月12日(土) 9時～12時

◎ところ 総領支所

注)広報しょうばら1月号で、2月のふれあい市長室を2月12日(土)とお知らせしましたが、公務の都合により2月11日(祝)に変更します。

※公務により実施できない場合もあります。

※道路の改良・維持・修繕などの要望、陳情は、事業担当課へお願いします。



献血のご案内

☎保健医療課医療予防係 ☎0824-73-1155

献血をつぎのとおり実施します。

皆さんのご協力をお願いします。

実施日	会 場	受付時間
2月14日(月)	ザ・ビッグ庄原店	11時30分～15時
3月8日(火)	庄原赤十字病院	11時30分～15時

【お詫びと訂正】

広報しょうばら12月号の32ページで、誤りがありました。次のとおり訂正するとともに、深くお詫びいたします。

交通安全ポスターコンクール
広島県交通安全協会会長銅賞
(誤)林 春奈(栗田小1年)
(正)若林春奈(栗田小1年)

広報日記

今月号が発行されるころには、庄原を知る韓国の方が急増しているはずです。そして今後、ロケ地観光で庄原を訪れる韓国の方が増えてくことは間違いありません。庄原をPRする絶好のチャンスですので、皆さんいろいろな取り組みや仕掛けをぜひ考えてみてください。(奥)



犬・猫の引き取り

☎環境衛生課 ☎0824-72-1398

2月・3月の犬・猫の引き取りは、次の日程で実施します。

なお、手続きには認印が必要です。持参してください。

庄原地域	毎月第1～第4火曜日 2月8日・15日・22日 3月1日・8日・15日・22日	11:00～11:10 東自治振興センター 11:25～11:35 市役所車庫 11:50～12:00 敷信自治振興センター
西城地域	毎月第1・第3木曜日 2月17日、3月3日・17日	9:00～ 9:10 西城支所前
東城地域	毎月第1・第3木曜日 2月17日、3月3日・17日	9:40～ 9:50 小奴可研修センター 10:20～10:30 東城文化会館
口和地域	毎月第4木曜日 2月24日、3月24日	11:40～11:50 口和支所前駐車場
高野地域	毎月第4木曜日 2月24日、3月24日	13:20～13:30 高野支所横
比和地域	毎月第4木曜日 2月24日、3月24日	13:50～14:00 比和支所
総領地域	毎月第2水曜日 2月9日、3月9日	9:40～ 9:50 総領支所 (スクールバス駐車場)



しょうばら九日市

毎月9日は、しょうばら九日市

★出展者募集中! あなたのお店を開こう。

★毎月20日が出店申込締切です。

★申し込みは 交流サロンラッキー ☎0824-72-0075まで

3月

《と き》 3月9日(水) 10時～14時

《ところ》 中本町商店街周辺(のぼりが目印)

詳しくはHPで <http://kunchi-ichi.main.jp>



男女共同参画コーナー

女性児童課 ☎0824-73-1243

家族に「ありがとう」

「子育ても家事も、年中無休でヘトヘト…」
「仕事から帰ったら、疲れて話をする気力もない…」
忙しい毎日、家族にイライラをぶついたり、コミュニケーション不足になったりしていませんか?
一番身近な存在だからこそ、お互いに協力し、「お疲れさま」「ありがとう」と声に出して伝えたいですね。
その一言で、「明日からまたがんばろう!」と思えます。

配偶者・パートナーからの暴力(DV)で悩んでいませんか

～あなたは“ひとり”じゃない～

広島県西部こども家庭センター 女性相談課
(配偶者暴力相談支援センター・婦人相談所)☎082-254-0391

広島県北部こども家庭センター 相談援助課
(配偶者暴力相談支援センター)☎0824-63-5181(内線2313)

庄原市役所 女性児童課 ☎0824-73-1243



口和郷土資料館

☎0824-87-2230

開館日 月・木・土 9時～17時

8ミリ映画撮影機(カメラ)

①Yashica 8

②フジカシングル8 (P-300)

①は、昭和34年にヤシカカメラ(八州光学精機、現在は京セラ㈱)に吸収)で製造された8ミリ撮影機(カメラ)「Yashica 8」です。レバーでゼンマイを巻き上げ、ゼンマイの戻る力でフィルムとシャッターを動かします。レンズはネジ込み式の固定焦点で、焦点距離の違うレンズと交換が可能です。露出は、被写体の明るさに応じて手動で調整します。

撮影は16ミリフィルムを往復で使い、撮影速度は1秒間に16コマ、往復4分間です。撮影後に、現像したフィルムを半分に切断して「レギュラー8」フィルムとなります。このフィルムは、広報12月号で紹介した映写機で上映します。

②は、昭和40年に富士フィルム㈱で製造された「フジカシングル8」です。電池式のモーターでフィルムとシャッターを動かし、撮影速度は1秒間に18コマです。レンズは画角が変えられる2.6倍のズームレンズで、自動露出機能も付いて使いやすくなりました。フィルムは、カメラへの出し入れが容易なマガジン式の「シングル8」を使用します。後に参議院議員となる扇千影さんのCM「私にも写せます」で評判になりました。

これらのカメラで撮影した8ミリフィルムは、現像所へ送って「現像」を行います。そのため、上映できるまでに数日間が必要でした。8ミリ映画は昭和45年ごろが最盛期でしたが、その後ビデオが普及し、次第に使われなくなりました。シングル8フィルムは現在でも販売されており、撮影ができます。

当館で、お手持ちの8ミリフィルムを上映して、懐かしい場面を体験してみませんか?



休日診療のご案内

2月・3月の休日診療については、次のとおりです。

●庄原地域

2月11日(金)	戸谷医院	☎0824-72-3131
13日(日)	児玉医院	☎0824-72-0147
20日(日)	林医院	☎0824-72-0121
27日(日)	戸谷医院	☎0824-72-3131
3月6日(日)	庄原赤十字病院	☎0824-72-3111

●東城地域

2月11日(金)	こぶしの里病院	☎08477-2-5255
13日(日)	日伝医院	☎08477-2-2180
20日(日)	細川医院	☎08477-2-0054
27日(日)	東城病院	☎08477-2-2150
3月6日(日)	こぶしの里病院	☎08477-2-5255



市民ギャラリー「アート多愛夢」
情報BOX

市街地の空き店舗を活用した、各種展示ができる市民ギャラリーです。

いけばな関渕流永井瑞渕
秋山蓉子フラワーデザイン教室
総領教室作品展

とき 3月9日(水)～10日(木)
10時～17時

☎庄原市文化協会事務局 ☎0824-72-5453
商工観光課商工振興係 ☎0824-73-1178

※展示を希望される団体(または個人)はお申し込みください。使用料はいりません。



食彩館しょうばら
ゆめさくら

☎0824-75-4411

【2～3月のイベント情報】

▶ゆめさくら講座

○かずら教室
「かずらの壁掛けづくり」
とき 2月18日(金) 9時30分～12時
参加費 1,300円 定員 15人
「フラワースタンドづくり」
とき 3月14日(月) 9時30分～12時
参加費 1,800円 定員 15人

○癒しの空間づくりKouza
「ひな祭りの寄せ植えづくり」
とき 2月25日(金)
朝の部 10時30分～12時30分
昼の部 13時30分～15時30分
参加費 1,800円 定員 各15人

○郷土料理教室
「早春の野草を味わおう」
とき 3月10日(木) 10時～14時
参加費 1,500円 定員 30人
草木染め教室

○「手さげ袋(エコバック)染め」
とき 3月2日(水)
朝の部 9時～12時
昼の部 13時30分～15時30分
参加費 4,400円 定員 各10人
締切 2月21日(月)

▶展示・その他

○手仕事・お雛さま展
2月17日(木)～3月13日(日)午前中まで



市税・水道料金・下水道使用料
納付は口座振替が便利です

手続きは各金融機関の窓口でお願いします。

※残高確認も忘れないでください。

●税務課収納係 ☎0824-73-1145
●下水道課管理係 ☎0824-73-1175
●水道課庶務係 ☎0824-73-1197

27

2011.2 広報しょうばら

26

2011.2 広報しょうばら